

施設紹介

「医療法人春林会 華岡青洲記念心臓血管クリニック」

診療技術部 山口隆義

皆様、こんにちは。遠友 ser 会の世話人をさせて頂いています山口です。私事ではありますが、この度、「JCHO 北海道病院」を退職し、本年8月より「医療法人春林会 華岡青洲記念心臓血管クリニック」に勤務しております。そこで、今回は、我々の新しい CT 室を中心に施設紹介をさせていただきます。

その前に、病院名の説明が必要かもしれませんね。先日、とある東芝ユーザーの方に名刺をお渡ししたところ、「院長先生のお名前がクリニック名なのですね」と言われました。たしかに、そんな感じですよ。実は、「華岡青洲」は江戸時代の麻酔科医師で、“通仙散”という麻酔薬を開発し、世界で初めて全身麻酔による乳がん手術を行ったという歴史上の人物です。アメリカのシカゴにある国際外科医学博物館には、その功績が絵と共に紹介されています。この度、その直系の末裔として、当院の理事長が華岡を継承する事となり、このような施設名の心臓血管クリニック（19床）を開設する運びとなりました。現在は医師8名で、放射線技師は3名でスタートしております。ちなみに、住所は札幌市豊平区美園3条5丁目3-1で、36号線に面しております。



さて、前置きが長くなりましたが、当院の CT 室には、Aquilion ONE GENESIS Edition が鎮座しております。当初は ViSION Edition を導入予定で図面も引いていたのですが、GENESIS はとても小さいので、

結果的に CT 室を広く使用できるようにになりました。Aquilion 64 が設置できている部屋には楽々設置できるみたいです。他メーカーのフラグシップモデルでは、そうはいきませんね。



この原稿を書いている段階では、まだ使用経験は 2 ヶ月未満で

す。ですが、そのファーストインプレッションとしては、Full 逐次近似再構成である FIRST が良い感じです。心臓領域であれば再構成時間も許容範囲内ですので、早速ルーチンで使用しています。冠動脈の石灰化部位や STENT 内腔の見え方が違います。さらに、末梢血管の CT 値が持ち上がるので、CT Angiography には好都合です。また、Pure ViSION Optics による X 線エネルギーの最適化によって、被ばく線量が従来と比較して低くなっています。我々は、CT による心臓の One stop shopping 検査の構築も目指しているのです、これは大変助かります。まだまだ、沢山の機能を持っている装置なので、これからじっくり使い倒して行こうと考えています。一方、後処理側では、これまで使用してきた ZIO station2 のフィジオ付きに加えて、Vitrea も導入しました。近日中には東芝 CT-FFR が使用できる予定で、これまで行ってきた Heart Flow 社の FFR-CT と共に、非侵襲の FFR に関する検討も行っていく予定です。ご興味のある方、一緒に研究しませんか？